

平成18年度 多摩区協働推進事業 実施結果

1 区民との協働による課題解決型事業	予算額 20,234,000円	決算額 17,452,611円	不用額 2,781,389円
--------------------	-----------------	-----------------	----------------

(◎は新規事業、○は拡充事業)

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
◎(1) 保育の寺子屋開設事業 [こども総合支援担当]	市立生田幼稚園を利用し、家庭で保育する0歳～5歳までの未就園児の子どもを持つ親を対象として月2回土曜日の午前中に親と子の学習・交流の機会をつくり親を支援する。 ■事業対象：0～5歳児までの未就園児を持つ親子 ■実施主体：NPO法人ままとんきっず ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	・日程：平成18年5月～平成19年3月 (月2回の土曜日 合計20回) ・内容：親子遊び、親子体操、わらべ歌、離乳食、おやつ作り、親の講座(親になるとは、救命救急など) ・参加数：0歳-14組 1歳-21組 2歳-7組 3歳-12組 4歳-2組 合計56組	親が、こどもの育ちについて同じ年齢でもそれぞれ違いを持っていることを認識したり、救急法やこどものふれあい方を学んだりできた。 総合的に、学びだけでなく子育て中の親同士の交流が広がったり深まったりしたので事業としては成果があった。	予算額：952,000円 決算額：952,000円 不用額：0円
◎(2) 子どもの遊びコーナー事業 [こども総合支援担当]	区内小学校施設の一部を利用し「子どもの遊びコーナー」を設置して①子育て中の親子が安心して集える場の確保②小学生の子どもが乳幼児と接することにより命の大切さを体得③将来子どもが就学する学校への関心を高める等を目的に、3校でモデル事業を始める。	関係者との調整に日時を要したため未執行		予算額：957,000円 決算額：0円 不用額：957,000円
◎(3) 磨けば光る多摩事業 [総務企画課]	地域課題や地域の社会問題について、区民自らが主体的に解決するための活動提案を募集し、その公益性と将来性を評価したうえで、提案者への委託により事業を実施する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：事業提案者 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	・募集：平成18年8月20日～31日 ・審査：平成18年9月25日(提案数：11事業⇒選定数：4事業) ・委託内容 ①里山次世代育成事業(日向山うるわし会) ②クリーンエイド多摩川事業(NPO多摩川エコミュージアム) ③読売ランド駅周辺まちづくり事業 (読売ランド駅周辺まちづくりプロジェクト) ④若年性認知症支援事業(ぐるーぶ麦) ・報告会：平成19年3月1日	区民と行政との協働の一態様である区民提案型事業については様々な実施手法があるが、公開プレゼンテーションによる審査、事業提案者への実施委託、事業終了後における報告会の実施という手法により、一定の成果を得ることができた。今後は募集時期を早めて提案事業の実施期間を長くするとともに、分かりやすい広報、応募しやすい制度づくりに向けて検討を進める。	予算額：1,787,000円 決算額：1,463,960円 ①228,000円 ②448,000円 ③386,000円 ④265,000円 その他136,960円 不用額：323,040円
◎(4) 多摩区情報誌発行事業 [総務企画課]	多摩区の魅力を区民にとどまらず、市内外の多くの人に情報発信することを目的に情報誌を発行する。発行にあたっては、区民から編集協力者を公募し、専門家の協力を得ながら、区民と協働で取材、編集を行う。 ■事業対象：区民 ■実施主体：NPO法人K-press ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	・名称：ぐるぐる たまく ・内容：区内を歩き回り、取材したお勤めの観光名所・旧跡、地元の隠れたお店、大学キャンパスなど、多摩区の魅力を満載 ・規格：A4判 20頁 フルカラー ・作成数：10,000部	区民から編集協力者(区民エディター)を公募し、区民と協働で企画・取材・写真撮影・編集することで情報誌の作成を通して区民協働の推進が図れた。	予算額：1,869,000円 決算額：1,328,250円 不用額：540,750円
◎(5) 多摩区・3大学連携事業 [総務企画課]	多摩区においては、区内3大学の知的資源及び人材を活用し、大学と地域社会が連携して実践的な活動を実施することで、地域社会の様々な課題の解決を図るとともに、文教都市としてふさわしい地域社会づくりを目指している。地域の課題を掘り起こし、その解決に向けて、大学と地域との協働により、課題解決のモデルとなる実践的な取組を行う。 ■事業対象：区民 ■実施主体：専修大学、明治大学、日本女子大学 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	・連携協議会の運営 ・委託内容 ①専修大学：登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地域における区民ニーズ調査業務(アンケート、インタビュー、学生への意識調査、交流会) ②明治大学：生田緑地フィールドマナー啓発業務(親子自然教室の実施・運営等) ③日本女子大学：学校教育ボランティアによる学校サポート事業(学校教育ボランティア派遣、学生の相談対応、報告会)	①アンケート、インタビュー調査により明らかになった区民ニーズをどのように活かしていくかが今後の課題になる。 ②区民と区内の大学生がともに地域の自然について考えることにより、地域活動や地域交流への関心につながることが期待される。 ③学校側からは、教育現場の活性化につながったと高い評価を得ている。	予算額：2,124,000円 決算額：2,094,600円 ①882,000円 ②189,000円 ③999,600円 その他24,000円 不用額：29,400円
(6) 市民活動コーナー運営事業 [地域振興課]	区内で非営利の社会貢献活動をしている団体及び個人の活動を側面から支援するために、印刷や資料づくり等に必要の備品等(印刷機、紙折り機、丁合機、ペーパーカッター、強力パンチ等を常備)を備えたコーナーや会議室を登録団体に無料で利用開放する。 ■事業対象：区内で非営利の社会貢献活動を行う市民団体及び個人 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成13年度(継続事業)	支援コーナー利用実績 ①印刷室 671/年(前年度554/年)…約2割増 ②小会議室 48/年(前年度2/年)……24倍増 ③印刷に伴うグループ室 63/年(前年度35/年)…1.8倍増	地域の課題解決の役割を担うとされている非営利の社会貢献活動をしている団体及び個人の活動を側面から支援することで、豊かな地域社会づくりに貢献することができた。	予算額：1,456,000円 決算額：1,434,552円 不用額：21,448円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
(7) 安全・安心まちづくり 推進事業 [地域振興課]	区内の安全・安心なまちづくりを目指し、町会などが組織するパトロール団体等を支援する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：多摩区安全・安心まちづくり推進協議会 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度(継続事業)	①推進協議会の開催 平成18年7月12日 12月14日 ②推進協議会ホームページの開設・公開 12月 ③パトロール活動に使用するベストを購入し関係団体に貸与のぼり旗を購入し各団体へ貸与 ④年末年始緊急パトロールの実施 ⑤放置自転車等防止啓発ポスターの作成(1,200枚)	近年区の安全・安心まちづくりは重要度が増してきており、今後はさらに区民の関心が高まっていく事業である。区としても、各種関係機関・団体と連携をとり、パトロール等の取組みの推進と効果的な支援と検討していく必要がある。	予算額：2,587,000円 決算額：2,259,883円 不用額：327,117円
◎(8) 市民防災活動支援事業 [地域振興課]	大規模災害時における避難所運営会議の運営の円滑化を図ることを目的に防災フェアを実施する。救護体制を強化するために救命員を養成する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：多摩区自主防災組織連絡協議会 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	①避難所運営会議の開催 11回 ②多摩区防災フェアの開催 平成18年11月7・8日 650人参加 ③救命員養成講座の開催 平成18年11月6・9・13・16日(延4回) 17人参加	防災に対する市民の意識の高さを改めて感じたが、これを一部の人のみではなく、一人でも多くの市民に防災に対する意識と知識をもってもらえるよう、今後も自主防災組織を中心に関係団体とも連携を図っていくことが必要である。今回の防災フェアは非常に意義のあるものであると認識している。	予算額：1,927,000円 決算額：1,786,191円 不用額：140,809円
(9) まちづくり推進事業 [地域振興課]	住みよい魅力ある多摩区のまちづくりを推進するために、市民の主体的な参加による課題提起やその解決のための実践活動をおこなう。市民が安全で賑わいのあるまち、環境、福祉そして文化教育という4つのテーマごとの部会に分かれて活動を進め、事務局として地域振興課が関わることで市民協働の実践の場となっている。 ■事業対象：区民 ■実施主体：多摩区まちづくり推進協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成12年度(継続事業)	①協議会全体活動： ・視察研修会 ・第5回フェスティバルの開催 平成19年2月2・3日 ②実践活動(各部会ごとに月1~2回活動) ア 安全で賑わいのあるまち部会 イ 環境部会 ウ 福祉関連部会 区内医療機関案内の冊子作成 エ 文化教育部会 オ 地域連携検討委員会 「たまサロン」の開催(地域の活動団体と気軽に意見交換) 市民活動団体との関係づくりの検討を進めた	市民協働の流れの中で、十分にまちづくり推進事業として市民自らが主体的に活動する機会の提供と成果の着実な積み重ねはかなりの評価に値する。	予算額：4,735,000円 決算額：4,622,030円 不用額：112,970円
◎(10) 多摩区郷土資料収集事業 [地域振興課]	多摩丘陵の谷あい、多摩川と緑に囲まれた多摩区は、かつてのどかな山里であった。ふるさと多摩区の貴重な歴史的資料である暮らしの中の風景、風習、風俗、行事、生活文化、農業、商業、漁業、まちづくり等が表現された写真や絵図を後世に伝える郷土資料として収集し、保存する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	多摩区の観光事業に協力するとともに、更に多摩区内の昔の写真を所有する市民の承諾のもと区として保管する写真の選定作業を推進し保存した。	昔ながらの多摩区の文化・風習・風景を資料として残すという取り組みは、区として必要な事業である。	予算額：350,000円 決算額：85,595円 不用額：264,405円
(11) 一人暮らし等高齢者の介護 予防事業 [高齢者支援課]	一人暮らし等高齢者の外出や地域社会での交流の機会を増やすことで、閉じこもりや認知症等の介護予防を図る。学習と交流の場「めだかの地域大学」を継続して開設し、保健福祉講座を開設する。 ■事業対象：三田地域の一人暮らし等高齢者 ■実施主体：NPO法人コスモスの家 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成16年度(継続事業)	めだかの地域大学の開催 ・日程：月1回 ・参加数：平均22人/月 地域通信の発行 ・回数：2回	介護予防が重視される中、地域とも連携して事業を実施した。対象となる高齢者への介護予防効果に加えて、地域住民の介護予防に関する理解を深めたという点でも、事業目的に対する成果は十分に得られている。	予算額：613,000円 決算額：549,000円 不用額：64,000円
(12) 育児情報提供と交流支援事業 [保健福祉サービス課]	子育てウェブサイトのメンテナンス、バージョンアップを図り、子育て情報を毎月発行する。区内7ヵ所の「ママズサロン」参加者によって育児情報交流新聞(隔月、年6回)を発行する。 ■事業対象：子育て中の親 ■実施主体：NPO法人ままとんきっず ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度(継続事業)	①子育て中の親に育児情報を適時提供するサイト「子育てウェブ」の情報更新、見やすくするためのバージョンアップを行った。 ②区内7ヵ所の「ママズサロン」参加者編集による日常的な育児情報交流新聞の発行を年6回行った。(発行部数400枚/1回)	核家族が主流となっている子育て環境の中で、適切な育児情報を提供することは重要である。	予算額：877,000円 決算額：876,550円 不用額：450円

2 区の魅力づくり・イメージアップ型事業

予算額 26,375,000円

決算額 21,437,564円

不用額 4,937,436円

(◎は新規事業、○は拡充事業)

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
(13) 生田緑地エントランス スポット管理運営事業 [総務企画課]	平成17年度に設置したエントランススポットの美化、清掃及びパネル掲示物に係る定期的な展示の差替などの管理を行う。	委託先として想定していた区内の大学との調整に日時を要したため未執行。		予算額： 740,000円 決算額： 0円 不用額： 740,000円
(14) 生田緑地案内サイン設置事業 [総務企画課]	地域の貴重な魅力資源である生田緑地及び緑地内文化教育施設への効果的な誘導を目指して、最寄駅である登戸・向ヶ丘遊園駅から生田緑地へ至る経路に歩行者向け誘導案内サインを設置する。 ■事業対象：登戸・向ヶ丘遊園駅から生田緑地への歩行者 ■実施主体：(株)商華堂 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度(継続事業)	・設置数：1基 ・設置場所：五ヶ村堀緑地入口(稲生橋側) (登戸2789番地先)	平成17年度に作成した「多摩区サインマニュアル」に基づき、区内案内サインのデザインを統一していくことで、良好なデザインによる生田緑地全体のイメージアップや、歩行者にとってよりわかりやすい誘導が可能となった。	予算額：1,980,000円 決算額： 808,500円 不用額：1,171,500円
(15) 多摩区役所ホームページ 更新事業 [総務企画課]	インターネットが日常生活で一般的に利用されていることから、多くの行政情報を正確・迅速に発信するとともに、区の魅力情報を積極的に発信するため、既存の多摩区ホームページの情報を更新する。 ■事業対象：インターネットを閲覧できるすべての人 ■実施主体：(株)ソフテム ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成15年度(継続事業)	ホームページに「こどもページ」を新設し、全市民的な子ども向け情報と地域密着型の子ども及び保護者のニーズにあった情報を提供した。 小・中学生を対象に、日常における情報収集や夏季休暇期間中などの自由課題・研究の参考となる内容とした。	今後も効果的な情報発信が必要であることから、コンテンツの充実など利用環境の向上や良好なデザインによるイメージアップなど、今後もより一層内容の充実を図っていく必要がある。	予算額： 998,000円 決算額： 439,950円 不用額： 558,050円
◎(16) アートなまちづくり イベント事業 [総務企画課]	土地区画整理事業の進展により大きく変貌を遂げようとしている登戸・向ヶ丘遊園地区において、魅力的なまちづくりを目指す取り組みを市民との協働により模索している。その実験的取組として、17年度末で移転に伴い用途廃止となる多摩福祉館を一時利用して、アーティストによる現代アートを駆使したまちづくりイベントを市民との協働により実施する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：のぼりとゆうえん隊 ■事業形態：その他、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	「たまかんさよならパーティ」の実施 ・日程：平成18年4月29・30日 5月3～7日、12～14日 ・内容：多摩福祉館の内部を絵画などで装飾 ※区役所は多摩福祉館の光熱水費を負担	市民活動団体と行政との役割分担を明確にして連携・協働して取り組んでいく必要がある。 市民発意によるまちづくり活動の支援や行政との協働のあり方などを模索しながら、今後も引き続き地域の活性化を目指して連携・協働していく。	予算額： 700,000円 決算額： 259,101円 不用額： 440,899円
(17) 多摩区イメージアップ事業 [地域振興課]	区のイメージアップを図り、区民の郷土に対する愛着や連帯意識を育み、住民参加によるまちづくりを推進するため各種事業を実施する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：多摩区イメージアップ委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成8年度(継続事業)	①区の花、木普及事業の実施 ア 記念植樹事業 ・日程：平成19年1月22日(月) ・会場：区内小学校及び町会、自治会 イ 区の花苗木配布事業 ・日程：平成18年11月15日(多摩区風景写真コンテスト) 平成19年2月2・3日(多摩区リサイクルフェア) ②水と緑の風景写真コンテストの実施 ・応募数：155件(表彰式：平成18年11月15日) ③牛乳パック工作教室の実施 ・日程：平成19年2月2日(リサイクルフェア)2月15日(補講) ・会場：多摩市民館、多摩区役所会議室 ・参加者：各30人 ④リサイクルフェアの実施(まちづくりフェスティバルと合同開催) ・日程：平成19年2月2・3日 ・会場：多摩区総合庁舎アトリウムなど ・参加者：約1,000人(2日間計) ⑤多摩区長杯サッカーフェスティバルトロフィー作成 ⑥登戸駅ペDESTリアンデッキバナー事業	事業内容をふまえて、より公平に効率のいい事業展開ができるように進めていく。	予算額：1,748,000円 決算額：1,748,000円 不用額： 0円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
(18) 「音楽のまち・かわさき」 多摩区子育て応援コンサート事業 [地域振興課]	川崎市の施策である音楽のまちづくり事業を多摩区でも広くアピールし、地域の文化芸術振興の一助とするとともに、多摩区の魅力や地域ネットワークのアピールの場とすることを目的に、子育ての地域団体イベントと連携して子育て応援コンサートを開催する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：「音楽のまち・かわさき」多摩区事業実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成16年度(継続事業)	子育て応援コンサートの開催 ・日程：平成18年9月17日(日) ・会場：多摩市民館大ホール ・参加数：735人 ・入場料：無料	地域子育て支援ネットワークのお祭と同日開催・企画からの協力の形で実施し、地域主体のものとして実施できた。	予算額：1,740,000円 決算額：1,740,000円 不用額：0円
(19) たまく森のまつり事業 [地域振興課]	区内の幼児・児童・青少年を対象に、生田緑地で野外音楽等のイベントを開催して交流の輪を広げ、自然の恵みを認識し、郷土への理解と愛着を深める場を提供する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：たまく森のまつり実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成2年度(継続事業)	第17回 たまく森のまつりの開催 ・日程：平成19年3月10日(土) 10時～15時 ・会場：生田緑地柗形山広場 ・内容：小中学生による音楽演奏、ネイチャーゲーム、TVヒーローショー、ミニ動物園、民具製作コーナーほか ・参加数：6,800人	来場者も大変多く、区民に親しみのある事業であり、事業目的もほぼ達成でき適正であると考えられる。	予算額：3,700,000円 決算額：3,700,000円 不用額：0円
(20) 多摩まちかど祭事業 [地域振興課]	区民同士の友情とふれあいを育て、地域文化を醸成するため、区民祭と同時に舞台公演を開催し、区民祭との相乗効果を図る。 ■事業対象：区民 ■実施主体：多摩まちかど祭実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成3年度(継続事業)	第16回 多摩まちかど祭の開催 ・日程：平成18年10月21日(土) 10時～15時 ・会場：生田緑地噴水池 ・内容：テーマ「みどりの多摩区、環境共生のまち」 区民による舞台公演 ・参加数：68,000人(区民祭と同時開催)	区民一人ひとりが担い手となれる舞台公演を通して、地域コミュニティの形成に役立てた。 地域文化の醸成や住民交流のために本事業は必要である。	予算額：1,677,000円 決算額：1,677,000円 不用額：0円
(21) 多摩区ミュージックダンス フェスタ事業 [地域振興課]	多摩区の青少年の手によるロックミュージックとストリートダンスの日の成果の発表の機会を提供し、出演者が自ら企画運営に携わることでより地域の人たちとの交流を深め社会参加を図ることを目的に実施する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：「音楽のまち・かわさき」多摩区事業実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成14年度(継続事業)	第5回 多摩区ミュージックダンスフェスタの開催 ・日程：平成19年3月24日(土) ・会場：生田緑地柗形山展望台 ・出演者：バンドー11グループ、ダンスー5グループ ・参加数：500人 ・入場料：無料	屋外事業ということで、天候が不安定で多少の心配はあったが、無事に終了することができ、事業目的である出演者の社会参加を図ることができた。	予算額：1,996,000円 決算額：1,996,000円 不用額：0円
(22) せせらぎ館多摩川の魅力 イベント事業 [地域振興課]	多摩川の自然を紹介する施設であり、多摩川を中心とした市民活動の拠点であるせせらぎ館で音楽等の催しを行い、多摩川の自然と触れ合い、地域市民活動ネットワークや区の協働推進事業をアピールする。 ■事業対象：区民 ■実施主体：NPO法人多摩川エコミュージアム ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度(継続事業)	「多摩川夕涼みコンサート」の開催 ・日程：平成18年8月6日(日) ・会場：ニヶ領せせらぎ館 ・出演：旅の音楽家 丸山祐一郎ほか ・内容：手作り楽器「水カンリンバ」を作成・演奏 ・参加数：200人 ・入場料：無料	地域活動の成果や現状をアピールしながら、多摩川の自然に親しむことができた。今後とも、音楽を通じて地域活動ネットワークや多摩区の区民協働推進事業を効果的にアピールするための工夫を取り入れていきたい。	予算額：500,000円 決算額：500,000円 不用額：0円
(23) ミニ水族館の維持管理事業 [地域振興課]	郷土の多摩川が身近に感じられるよう、区役所ロビーに設置しているミニ水族館を維持・管理する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：中里フィッシュセンター ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成2年度(継続事業)	庁舎1階アトリウムに多摩川に生息する生き物を飼育する水槽を2基設置し、年間を通じて来庁した区民が身近に鑑賞できる場を提供した。	来庁者が誰でも気軽に立ち寄れるアトリウムに常時設置していることから、年間を通じて広く区民が親しめる事業として、事業目的を効果的に果たしているといえる。特に乳幼児と親から大変好評を得ている。	予算額：945,000円 決算額：945,000円 不用額：0円
(24) 住民交流の推進事業 [地域振興課]	静岡県岡部町、千葉県南房総市千倉町との交流事業を推進し、相互の友好を深め、文化の発展や市民生活の向上を図る。 ■事業対象：区民、静岡県岡部町民、千葉県南房総市千倉町民 ■実施主体：多摩区交流事業実施委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成4年度(継続事業)	①ちくらさかな料理教室 ・日程：平成18年9月15日(金) 参加者：30人(抽選) ②庖丁式 平成19年1月23日(火) 参加者：200人 ③多摩区民祭物産交流 ・日程：平成18年10月21日(土) ・内容：多摩区民祭における交流都市出店 ④団体間交流事業 ⑤交流都市イベント訪問 ・岡部町朝比奈大龍勢 平成18年10月14・15日 ・いきいき千倉産業祭り 平成18年11月25日、26日	友好都市間でよりよい交流を図るため、状況の変化に応じた交流内容を検討していく必要がある。	予算額：1,797,000円 決算額：1,728,000円 不用額：69,000円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
(25) たまたま子育てまつり事業 [生涯学習支援課]	多摩区総合庁舎において、子育て支援団体・グループ、行政が協働して情報を発信し、交流を図るためのイベントを開催する。子ども人権相談、子育て個別心理相談、読み聞かせ、昔遊び、親子遊び等を実施する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：たまたま子育てまつり実行委員会 ■事業形態：その他、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	第4回 たまたま子育てまつりの開催 ・日程：平成18年9月17日(日) ・会場：多摩区総合庁舎 ・参加数：4,000人 ・入場料：無料	多摩区内の子育て支援団体・市民グループと関係行政機関との協働により、「たまたま子育てまつり」の企画運営を行うことで、多摩区内の子育て支援を地域全体で支えていくという環境づくりに大きく寄与していると考えられる。	予算額：800,000円 決算額：490,000円 不用額：310,000円
(26) 窓口サービス改善推進事業 [区民課ほか]	多摩区窓口サービス改善検討会議の提言を受け、区民の視点に立った窓口環境整備を行い、市民サービスの向上を図る。	・窓口応接時における市民の個人情報保護のため、カウンターにパーテーションを設置した。 ・その他修繕	窓口応接時における市民のプライバシー保護の向上が図れた。	予算額：1,185,000円 決算額：434,700円 不用額：750,300円
(27) 精神保健福祉ガイドブック(改訂版)作成事業 [地域保健福祉課]	15年度魅力ある区づくり推進事業で作成した「こ・こ・た・ま」～心の健康を支えるガイドマップ～の改訂版を作成する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	・名称：こ・こ・た・ま2007年～こころの健康を支えるガイドブック～ ・内容：妊娠期～高齢期までの様々な年代で、心に不安を感じたときにどうすることができるかを一冊にまとめた。多摩区で住み、働く人が心から健康になれるようにサポートする人や場所を紹介している。 ・規格：B5判 46頁 フルカラー ・作成数：7,000部	区民に対して、精神保健福祉に関する情報提供ができた。今後は該当する人に必要な情報が伝えられる方法を検討したい。	予算額：1,801,000円 決算額：648,334円 不用額：1,152,666円
(28) 介護予防・健康づくり教室事業 [地域保健福祉課]	寝たきりの原因である転倒、骨折に焦点をあて、区民自身がその引き金となる骨粗しょう症の状態を知るとともに、寝たきりを防ぐための生活のあり方を学ぶ。また、健口体操等の口腔ケアを実施することで、誤えん性肺炎や口腔疾患の予防につながり、高齢になっても生き生きとした生活を送れるよう歯科保健の角度から支援する。 ■事業対象：区民(高齢者) ■実施主体：(財)かながわ健康財団 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度(継続事業)	①介護予防健康づくり教室(出前教室)の実施 ・日程：平成18年9月25日～平成19年3月6日の5回 ・会場：老人いこいの家、自治会館等 ・参加数：200名 ②歯と口の健康講座の開催 ・回数：34回 ・会場：老人いこいの家、町内会館等 ・参加数：739名	参加者が参加しやすい条件として、高齢者が参加しやすい身近な地域で事業が実施され、区役所までは足を運ばない虚弱高齢者(より参加して欲しい参加者)も参加できたことは実施する意味が大きかったと考える。	予算額：803,000円 決算額：762,656円 不用額：40,344円
(29) 永久歯健全育成事業 [地域保健福祉課]	永久歯の健全育成をめざし、幼児期、学齢期を対象に歯科保健事業を展開することで健康な生活を歯科保健の分野から支援する。 ※17年度は「フッ化物応用普及推進事業」として実施 ■事業対象：区民(乳幼児、保育園児・児童) ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度(継続事業)	①夏休み親子歯科教室の開催 ・日程：平成18年8月9日(水) ・会場：多摩区保健福祉センター ・内容：歯科検診、歯みがき実習、フッ化物体験 ・参加数：親子3組 ②健康フェア歯科コーナーの開設 ・日程：平成18年9月17日(日) ・会場：多摩区保健福祉センター ・内容：歯科検診、相談、歯みがき実習、フッ化物体験 ・参加数：285名	フッ化物の体験を通して、う蝕予防の有効性についての普及・啓発が多くの区民に浸透されて大変有効であった。	予算額：234,000円 決算額：228,765円 不用額：5,235円
(30) 食育健康教室応援事業 [地域保健福祉課]	妊産婦を含め若い世代では朝食欠食者、女性のやせすぎ、男性の肥満、子どもでは孤食、偏食、体力低下が目立つ中、次世代子育て支援の核となる関係団体、ボランティア、施設関係者を対象に食生活の学習、リーダー研修を行う。 ■事業対象：学校、保育園、在勤の栄養士、ボランティア、妊婦 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成14年度(継続事業)	①親子の食育健康教室の開催 ・日程：妊婦を対象に12回 ・内容：食育推進のための講話、体験学習、懇談 ・会場：多摩区保健福祉センター ・参加数：延 238人 ②リーダー研修会の開催 ・日程：平成18年9月8日(金) ・会場：多摩区役所6階会議室 ・内容：食育の普及啓発 (区内の食育を推進する役割を担う団体への普及啓発) ・参加数：区内関係施設者、ボランティア等 51人(27施設)	講話及び体験学習(調理実習)を通して家族の健康づくりの普及や地域ぐるみで食育を推進するための場となり、次世代子育ての役割を担った。	予算額：351,000円 決算額：339,098円 不用額：11,902円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
(31) 乳幼児発育支援事業 [保健福祉サービス課]	<p>①幼児の発達支援 「言葉が遅い」、「多動」など養育に困難さや心配のある幼児、親を対象に、子どもへの対応方法の体験や親同士の交流により育児不安の軽減と発達支援を行う。 ■事業対象：健康診断に来所する親子 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度(継続事業)</p> <p>②生きがいと楽しさをもてる子育て支援交流 保健福祉センターと地域のサロンで子どもとの接し方や遊び方のわからない、子育てにストレスを感じている親子等を対象に相談、交流を行う。 ■事業対象：子育て中の親子 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成15年度(継続事業)</p> <p>③スキンシップコーナー 安定した親子関係が築けるようにスキンシップの必要性和具体的な方法を学び、子育て不安な親に3か月健診や新生児訪問などで助言と指導を行う。 ■事業対象：子育て中の親子 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成15年度(継続事業)</p>	<p>①幼児発達相談の実施 ・回数：1歳半～2歳児、2歳～3歳児を対象に毎月1回 計24回 ・会場：区役所 保健福祉センター ・参加数：563人</p> <p>②-1母子サロンの開催 ・日程：月11回の割合で実施 ・回数：132回実施 ・会場：保健福祉センター ・参加数：健診時自由参加</p> <p>②-2地域ママズサロンの開催 ・日程：毎月1回(年間73回実施) ・会場：区内6箇所(登戸・菅・南菅・生田・長尾・長沢) ・参加数：3,166人</p> <p>③スキンシップコーナーの実施 ・日程：3ヵ月健診時 ・回数：月3回 年間36回実施 ・会場：保健福祉センター ・参加数：624人</p> <p>④幼児の発達支援講演会の開催 ・回数：3回 ・会場：保健福祉センター ・参加数：52人</p>	<p>①重度障害児の子への支援はあるが、軽度の子は幼稚園入園までの間の受け皿がない。発達に問題のある子は虐待のハイリスクでもあり、予防の観点から、また、子育てに不安を持つ親に対して子育ての正しい知識をもってもらうことにも意味がある。</p> <p>②健診は短時間に多くの児を診る業務であり、親が安心して健診を行うには場所の保育環境整備も大切でそれらを満たした。また、親子の交流ができ楽しい子育てを支援することができた。</p> <p>③こどもとの接し方がスムーズにいかない親がこの方法を学ぶことにより、安定した親子関係をより深める姿が見られた。あわせて、子育て不安の親に助言・指導を行った。</p>	<p>予算額：2,680,000円 決算額：2,992,460円 差額：△312,460円</p>

3 その他、区政の推進に関わる事業	予算額 8,391,000円	決算額 4,504,784円	不用額 3,886,216円
--------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

(◎は新規事業、○は拡充事業)

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
(32) 共通事務経費 [総務企画課]	協働推進事業の共通事務経費			<p>予算額：806,000円 決算額：307,216円 不用額：498,784円</p>
(33) 緊急対応事業費 [総務企画課]	緊急の事態に対処するための予備費	<p>○啓発研修事業「地域で見守る子どもたち」 ○たまアトリウムコンサート事業 ○健康づくりグループ活動マップ作成事業 ○駅周辺案内掲示板等作成事業 ○窓口サービス改善推進事業 ○多摩区・3大学連携協議会新聞広告記事掲載事業</p>		<p>予算額：7,585,000円 決算額：4,197,568円 不用額：3,387,432円</p>

※ 緊急対応事業一覧

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
※ 啓発研修事業 「地域で見守る子どもたち」 [こども総合支援担当]	地域住民や保護者、子育て支援機関、団体を対象に、子どもの成長、発達に係わる様々な課題について専門分野の講師等を招き理解を深める。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、緊急対応事業 ■開始時期：平成18年度	・日程：平成18年8月4日、10月13日、12月27日 ・テーマ：1回目 暮らし・育ち・学びの支援の現状と課題 2回目 乳幼児期から就労までの地域サポートに向けて 3回目 大人と育つこどもたちの社会力 ・会場：多摩市民館 ・参加数：延180人	「軽度発達障害について」をテーマに講演会、シンポジウム、ワークショップを行ったが、各回とも約60人の参加があり、参加者の関心も高く大変有意義であった。	決算額：113,500円
※ たまアトリウムコンサート事業 [地域振興課]	「音楽のまち・かわさき」多摩区事業の一環として、昼休みの時間帯にコンサートを実施する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：「音楽のまち・かわさき」多摩区事業実行委員会 ■事業形態：全部委託、緊急対応事業 ■開始時期：平成18年度	たまアトリウムコンサートの開催 ・日程：平成18年10月20日、平成19年1月17日、3月14日 ・場所：区役所アトリウム ・参加数：延600人	試行的に3回のコンサートを実施したが、各回とも200名前後の集客があり、区民からも大変好評である。今後は公募による区民出演者を募るなど、より区民に身近な事業となるよう検討を重ねていきたい。	決算額：475,168円
※ 健康づくりグループ活動マップ作成事業 [地域保健福祉課]	多摩区では地域の健康づくり・介護予防を目的とした体操（公園で行なう「みんなの公園体操」、老人いこいの家や自治会館で行なう「いきいき体操」）を日常的に身近な会場で行っている。今回は健康づくりボランティアとともに、この体操の活動内容と活動場所などをガイドマップにまとめ、広く地域の住民に健康づくりと介護予防の輪を広げていく。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、緊急対応事業 ■開始時期：平成18年度	・名称：多摩区みんなの公園体操 多摩区いきいき体操ガイドマップ ・作成数：5,000部	高齢者が参加しやすい条件づくりとして、身近な公園や会場で体操を実施している。区役所までは足を運ばない高齢者（より参加して欲しい参加者）も、健康づくりボランティアや民生委員などからこのガイドマップを受け取り、これを見て、身近な会場に参加してもらえると考える。	決算額：545,000円
※ 駅周辺案内掲示板等作成事業 [地域振興課]	老朽化した区内主要駅の既設案内掲示板を改修（取替）する。 ■事業対象：一般 ■実施主体：(株)武揚堂 ■事業形態：全部委託、緊急対応事業 ■開始時期：平成18年度	①JR宿河原駅前 1基 ②JR中野島駅前 1基	改修した案内掲示板の裏面に、観光風景写真(二ヶ領用水沿いの桜並木、中野島の梨畑)等をはめ込むことで乗降客に観光スポットをアピールできた。	決算額：2,084,250円 ①1,015,875円 ②1,068,375円
※ 窓口サービス改善推進事業 [市民税課]	窓口順番案内機を導入し、窓口における受付順の不明瞭、待ち時間や待ち人数など市民の不安解消を図るため、番号発券機を購入する。	既設の機器と用品、備品を共用でき、移動可能な機器を導入し、特設する申告受付会場や他課の窓口など、適時に必要とする場所に移動させ、最も有効活用を図った。	窓口サービスの向上が図れた。	決算額：454,650円
※ 多摩区・3大学連携協議会新聞広告記事掲載事業 [総務企画課]	多摩区・3大学連携協議会の活動内容やビジョンについて、マスメディアを通じて広く市内外に向け発信することで、多摩区の特色ある区内3大学の知的資源を活用した連携・協働による地域社会づくりを促進することを目的として、新聞紙上に協議会広告記事を掲載する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：その他、緊急対応事業 ■開始時期：平成18年度	・掲載紙面：神奈川新聞 ・掲載日：平成19年1月 ・広告規格：1枠 5段1/2スペース ・広告内容：協議会における地域と大学の連携によるまちづくりの取組み	多摩区・3大学連携協議会の取組みについて、広く市内外に向けて情報を発信することができた	決算額：525,000円

1	区民との協働による課題解決型事業	20,234,000円	17,452,611円	2,781,389円
2	区の魅力づくり・イメージアップ型事業	26,375,000円	21,437,564円	4,937,436円
3	その他、区政の推進に関わる事業	8,391,000円	4,504,784円	3,886,216円
	合計	(予算額) 55,000,000円	(決算額) 43,394,959円	(不用額) 11,605,041円